

今回のトレーシングレポート通信は副作用の事例と
残薬調整の事例です！

No.17
2023年9月号

事例①：発疹・痒みの副作用が発現した事例

処方

76歳 女性 整形外科			
タリージェ®錠5mg	1日2回	1回1錠	朝・夕食後
ロキソプロフェンNa錠60mg	1日3回	1回1錠	毎食後
レバミピド錠100mg	1日3回	1回1錠	毎食後

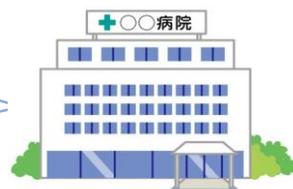
☞薬の服用を開始してから全身に発疹・痒みあり。

保険薬局より

報告内容	<input type="checkbox"/> 薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)	<input type="checkbox"/> 服薬状況
	<input type="checkbox"/> リフィル処方箋 <input checked="" type="checkbox"/> 副作用(重篤でないもの)	<input type="checkbox"/> 他院処方(重複、相互作用)
	<input type="checkbox"/> 抗がん剤 (<input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 注射)	<input type="checkbox"/> オピオイド
	<input type="checkbox"/> 手 技 (<input type="checkbox"/> 自己注射 <input type="checkbox"/> 吸入薬 <input type="checkbox"/> その他)	<input type="checkbox"/> その他 ()
情報提供・提案事項		
薬の服用を開始して5日後から全身に痒みが出たため、タリージェ®錠を自己判断で中止したそうです。現在薬を中止して3日目で、発疹・痒みは半分程度まで軽減しているとのこと。 副作用の可能性が考えられることから、明日の受診まで中止のまま様子を見るよう指導しました。		

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。
内容を確認し、カルテ記載で主治医へ報告しました。



その後の経過

受診時にタリージェ®錠中止の指示があったが、中止後も発疹が続くためタリージェ®錠の副作用の可能性は低いと医師が判断し、タリージェ®錠を再開、ロキソプロフェン錠が中止となった。その後は発疹は軽快し、疼痛コントロール良好に経過している。

副作用により薬剤が変更となった事例でした。
副作用が疑われた場合にはトレーシングレポートで情報提供をお願いします。
今回は次回受診までの日数が短いためカルテでの報告となりました。状況によっては医師に電話で速やかに確認します。

事例②：服用状況に合わせた用法変更の提案

処方

78歳 男性 心臓血管外科

アスピリン・ダイアルミネート配合錠A81	1回1錠	1日1回	朝食後
オルメサルタンOD錠20mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ランソプラゾールOD錠15mg	1回1錠	1日1回	夕食後
アトルバスタチンOD錠10mg	1回1錠	1日1回	夕食後
チクロピジン塩酸塩錠100mg	1回1錠	1日2回	朝夕食後
ニフェジピンCR錠10mg	1回1錠	1日2回	朝夕食後
ニコランジル錠5mg	1回1錠	1日2回	朝夕食後
ビフィズス菌錠12mg	1回1錠	1日3回	毎食後
テプレノン細粒10%	1回1g	1日2g	朝夕食後

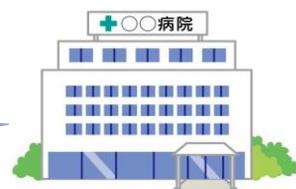
☞ 昼食後に薬を飲み忘れる。

保険薬局より

報告内容	<input type="checkbox"/> 薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)	<input checked="" type="checkbox"/> 服薬状況
	<input type="checkbox"/> リフィル処方箋 <input type="checkbox"/> 副作用(重篤でないもの)	<input type="checkbox"/> 他院処方(重複、相互作用)
	<input type="checkbox"/> 抗がん剤 (<input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 注射)	<input type="checkbox"/> オピオイド
	<input type="checkbox"/> 手技 (<input type="checkbox"/> 自己注射 <input type="checkbox"/> 吸入薬 <input type="checkbox"/> その他)	<input type="checkbox"/> その他 ()
情報提供・提案事項		
ビフィズス菌錠が1日3回 朝・昼・夕食後で処方されているのですが、患者さんが昼食後を飲み忘れることがあるので 1日2回 朝・夕食後にて処方提案させていただきます。 ご検討お願い致します。		

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、カルテ記載で主治医へ報告しました。



その後の経過

1日2回の内服でも便通が良好であり、受診時に**1日3回 毎食後→1日2回 朝夕食後へ処方変更となった。**その後も便通状態は良好に経過している。

患者さんの服薬状況に合わせて用法提案された事例でした。用法の変更を提案される場合には患者さんの状態のモニタリングを宜しくお願い致します。

事例③：疑義照会簡素化プロトコルに基づく変更票を使用し 残薬調節した事例

処方

65歳 男性 内科
ファモチジンOD錠20mg 1日2回 1回1錠 朝・夕食後 98日分

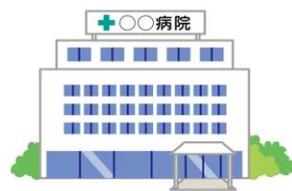
☞ファモチジンOD錠20mgの残薬あり。

保険薬局より

報告内容	<input type="checkbox"/> 薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)	<input type="checkbox"/> 服薬状況
	<input type="checkbox"/> リフィル処方箋 <input type="checkbox"/> 副作用(重篤でないもの)	<input type="checkbox"/> 他院処方(重複、相互作用)
	<input type="checkbox"/> 抗がん剤 (<input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 注射)	<input type="checkbox"/> オピオイド
	<input type="checkbox"/> 手技 (<input type="checkbox"/> 自己注射 <input type="checkbox"/> 吸入薬 <input type="checkbox"/> その他)	<input checked="" type="checkbox"/> その他(残薬調節)
情報提供・提案事項		
患者様が残薬調節を希望して薬を持参されたので、 残薬を含め98日分になるように調整して調剤しました。		

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、カルテ記載で主治医へ報告しました。



残薬があったため、処方日数から残薬日数分を引き、調剤した事例でした。
疑義照会簡素化プロトコルを用いて残薬調節を行った場合は、トレーシングレポートに理由を記載し当院へ情報提供するようお願いいたします。

【疑義照会簡素化プロトコルの運用開始について】

2023年5月より、当院では院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコルの運用を開始しました。

処方変更し調剤した場合、当院薬剤部ホームページより「疑義照会簡素化プロトコルに基づく変更連絡票」をダウンロード、記載後、当院薬剤部にFAXして下さい。

詳細は当院薬剤部ホームページの「院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコル」をご確認下さい。

疑義照会簡素化プロトコルに基づく変更連絡票(FAX送付票)

※必ず処方せんも一緒にFAXして下さい。

送付年月日 _____ 年 月 日

中国労災病院 薬剤部 FAX番号 0823-72-7228

薬局名 _____ 薬剤師名 _____

FAX番号 _____ 電話番号 _____

以下の内容を変更しました。

プロトコルⅢ
患者様が残薬を持参されたため、98日分から83日分に処方日数を変更し調剤しました。